

稲葉 省吾さん（博士前期課程 2 年）が化学工学会新潟大会 2022 において関東支部長賞（学生奨励賞）を受賞しました

Mr. Shogo Inaba (2nd grade in Master course) won the student encourage prize in SCEJ Meeting in Niigata 2022

令和 4 年 11 月 9 日から 10 日にかけて朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンターで行われた化学工学会新潟大会 2022 において、大学院自然科学研究科材料生産システム専攻素材生産科学コース・博士前期課程 2 年の稲葉 省吾さんが関東支部長賞（学生奨励賞）を受賞しました。

様々な化学品製造プロセスで用いられる晶析工程において、高純度の結晶製品を生産するには、結晶化の推進力である過飽和度をプラントスケールで制御し、不純物成分の混入を回避しながら目的成分の結晶を選択的に成長させる必要があります。稲葉君は、硝酸塩系水溶液からの回分冷却晶析において、種晶添加条件を最適化することで、高純度かつ粒径の均質性が高い単分散結晶を製造することに成功しました。さらには、種晶設計線図（シードチャート）をもとに、種晶添加条件から製品結晶純度を予測するための設計式を提案しました。稲葉君の今後の活躍が期待されます。

発表者：稲葉 省吾（新潟大学大学院自然科学研究科・博士前期課程 2 年）
（指導教員：三上 貴司 准教授）

演題名：硝酸塩系水溶液からの硝酸アルミニウム分離に関する冷却晶析条件の検討